

## 川から環境をかんがえよう

小学校低学年 小学校高学年

小学校中学年 中学校

ESD  
の要素持続可能な社会  
づくりの  
構成概念

多様性

相互性

有限性

公平性

連携性

責任性

ESD視点で  
育みたい  
能力/態度

【批判】批判的に考える力

【協力】他者と協力する態度

【未来】未来像を予測して計画を立てる力

【関連】つながりを尊重する態度

【多面】多面的、総合的に考える力

【参加】進んで参加する態度

【伝達】コミュニケーションを行う力

## プログラムの目標

- ①人と自然との関係を考えるきっかけとする。
- ②体験活動を通じて周りの自然に気づく。
- ③途上国の子どもの現状を知り、関心を持つ。
- ④自分の生活と関連付けて、今後の生活に生かす。
- ⑤学習した事を取りまとめ、アクションプランを作りあげる。

## プログラムの概要

清流永久井野川と自然豊かな自分たちの環境について知り、世界の子どもの水環境と比較する。自分たちの環境が当たり前環境ではなく、世界には、水道の蛇口をひねればきれいな水を手軽に使える、恵まれた環境にいる子どもたちは少ないことを学習していく。最終的に恵まれた環境の永久津地区のきれいな水を守るために自分たちができることが何かを考え、調べたことを取りまとめ発表することで知識を定着させる。また、永久井野川の水質調査を行うことで水について一歩踏み込んだ学習とする。

## 学習指導要領との関連

学年	小学校4年	小学校4年	小学校5年
教科/領域	理科	国語	総合的な学習の時間
学習内容	B生物・地球(3) ア 生物は水を通して周辺の環境とかかわっていること。	A話すこと・聞くこと(2)(1) ア 事物の説明や経験を報告したり、それを聞いて感想を述べたりする。 イ 知らないことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。 B書くこと(2) イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章を書くこと。 エ 紹介したいことをメモにまとめたり文章などを書くこと。	水・大気・土、国際理解、自然への愛着

持続可能な社会の構成概念



自分たちが使っている水には限度があることを知る。



世界では、きれいな水を使えない子どもたちがいることを知る。



恵まれた環境を理解し、それを守るためにできることを考え行動する。

ESDで育みたい能力／態度



見通しや目的意識を持ち、調査を進める。



自分との意見の違いを判断しながら、人の発表を聞く。



筋道を立てて話す能力、聞く能力、話し合う能力をつける。



途上国の子どもの現状を知り、関心を持ち共感する。



自分の言ったことに責任をもち、約束を守る。

プログラム（単元・題材）の展開の流れ

総時間  
8時間

1

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

地元の川を調査しよう！

1・2  
時間目

○導入：水辺調査の実施  
・音、風景、水の透明度、におい、パックテストで水質調べ、水生生物調査  
まとめ：五感で感じよう

◇永久井野川的环境を知る。  
◇ふりかえりで疑問に思うことを書き出す。  
〔パックテスト〕

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加







活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕
---------	------------------------

宿題	<b>感じたことをまとめてみよう</b>		批判	未来
	調査で感じたことをふりかえる。 ・不思議な事は何？ ・もっと知りたいことは何？	疑問に感じたことを次につなげる 〔ふりかえりシート〕	<b>多面</b>	伝達
			協力	関連
			参加	



3時間目	<b>世界の水事情について知ろう</b>		批判	未来
	世界の水クイズ ○地球上の水の割合【クイズ形式】 ・淡水、海水の割合を考え、水を分けてみる。 ○小林市の水事情（対話形式）のふりかえり ○世界の水事情（フォトランゲージ）写真を見せ、気づいたことを発表する。 「川の水をバケツで汲む少女」 「ポリタンクに井戸水をくむ少女と少年」 「水を頭に乗せてはこぶ少年たち」 「道路端でタンクを持ち、水汲みに並ぶ少年」	淡水、海水の割合をペットボトル1本の水で実際に分けてみる。 ●地球上にある水の97.5%は海水、2.5%は淡水、淡水のうち0.01%が使える水。 〔ペットボトル、水〕 水生生物調査、浄水場見学の写真を見せ、ふりかえる。 ●世界の70億人のうちきれいな水を使えるのは、7億人。 ワークシートに気付いたことを書く。 〔世界の事情（フォトランゲージ）写真、添付資料ワークシート〕	<b>多面</b>	伝達
			協力	<b>関連</b>
			参加	



	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
4時間目	<b>世界の水事情について知ろう</b> ○一日に使う水の量は？ ○水道の蛇口までの距離を測ろう（何歩？） ○運ぶ水の重さを実感する。（6ℓタンクを持ち上げる） 写真の子供は、この何倍も重い水を持ち、20kmほど運ぶ。	●洗濯41ℓ、炊事・料理 57ℓ 風呂59ℓ、トイレ68ℓ 飲料 3ℓ 228ℓ/日 12～13歩で蛇口につく。 自分たちがきれいな水を使いとても恵まれた環境にあることを実感する。 20kmは学校から出ノ山までの往復 [水のいったタンク]	批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加	
	 			
5時間目	<b>ふりかえってみよう！</b> ○ふりかえり ・淡水+海水の割合 ・写真やワークシート参照 ○アクションプランを立てる。 ●不思議に思ったこと ・どうして○○は○○なんだろう？ ・びっくりしたことは何か？	写真やワークシートを見てふりかえる。 ○不思議に思ったことはなんだろう？ [写真、ワークシート]	批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加	
	 			
6・7時間目	<b>きれいな水を守るためにはどうしたらよいか、調べてみよう</b> ○きれいな水を守るためにはどうしたらよいか、調べてみよう。 ①自分でできること ☆学校で ☆お家で ②家で家族とできること ③学校、4年生全員でできること。  感想を聞く	●図書室で調べる。 [ワークシート、参考図書]	批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加	
	 			

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
8時間目	発表し、皆で水の大切さを知ろう！		批判 未来
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートをモニターに映し、発表する。</li> <li>○感想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ずつ発表する。</li> <li>発表者に質問、同じ意見を伝える。</li> </ul>	多面 <b>伝達</b> 協力 関連 <b>参加</b>

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

- 地域プログラム化メンバー
- ・綾町照葉樹林文化推進専門監
  - ・南九州大学
  - ・ドリームトライ
  - ・多文化共生ネット九州
  - ・宮崎県地球温暖化防止活動推進センター
  - ・特定非営利活動法人宮崎文化本舗
  - ・一般社団法人 てるはの森の会
- 実証協力校等
- ・小林市立永久津小学校